

首相、TPP発効「大変厳しい」 トランプ氏翻意に望み

17日会談へ 補佐官渡米

「大変厳しい状況になってきたと認識している」。
環太平洋経済連携協定（TPP）の発効について、安倍晋三首相が14日の参院特別委員会できこう答弁した。米オバマ政権は任期中の議会承認を事実上断念。政府は、TPP離脱を掲げて次期大統領に選ばれたトランプ氏の翻意に、わずかな望みをつなぐ。▼1面参照

TPP支持だ」（政権幹部）と見ている。トランプ氏が、次期大統領首席補佐官に党主流派とのパイプが太いプリーバス氏を起用することも、トランプ氏がTPPからの離脱を撤回する可能性があるのではないか、との日本側の期待を後押ししている。

首相はこの日、大統領選挙期間中、トランプ陣営の幹部と会っていたことを明らかにし、17日に予定されているトランプ氏との会談について、「自由貿易だけでなく、安全保障も含めて率直に話をしたい」と述べ、個人的関係の強化をめざす考えを明らかにした。

首相は会談の地ならしのため、河井克行首相補佐官を米国へ派遣した。政権移行チームの執行委員との会談が予定されているが、そのほかは「政府機関、首相に近い民間ビジネススマンなどの人脈を最大限活用する」（河井氏）と手探りの状態だ。

日本経済新聞(夕刊)
2016年(平成28年)11月15日(火曜日)
3 総合 4版

訪米の首相補佐官 日米同盟で意見交換

【ワシントン＝川合智之】訪米した河井克行首相補佐官は14日、首都ワシントンで米国のドナルド・トランプ次期大統領との外交顧問団の関係者らと協議した。河井氏は会談後に「日米同盟が持つ重要性について意見交換した」と記者団に話した。

2016年(平成28年)11月15日(火曜日)
13S 政治 4

トランプ政権見据え 情報収集で米へ出発
河井克行首相補佐官は14日、米国に向け、民間機で成田空港を出発した。ドナルド・トランプ次期米大統領の新政権発足を見据え、共和党関係者らと会談し、高官人事や政策について情報収集などを行う。19日に

帰国する。
河井氏は出発に先立ち、成田空港で記者団に、「速やかにトランプ氏との個人的な信頼関係を築きたい」という安倍首相の考えを、新政権の中枢(となる政権移行チーム)に直接伝える」と語った。

8日の大統領選でのトランプ氏勝利を受け、安倍首相が9日、河井氏に訪米を指示した。

平成28年(2016年)11月15日 火曜日
5 総合 14版

河井首相補佐官が訪米

河井克行首相補佐官は14日、トランプ次期米大統領の関係者らと会談するため、米ワシントンに向けて民間機で成田空港を出発した。安倍晋三首相の指示を受け、米国の次期政権の政策や人事に関する情報を収集する。